

<様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書>

【教育活動の名称】 生徒会行事「バス遠足」

【副題】 夜間定時制高校の「京都の夜空と夜景を楽しむ会」

【学校名】 滋賀県立大津清陵高等学校馬場分校

1 本校の概要

単位制普通科の夜間定時制高等学校である本校には、県内各地から昼間の仕事やアルバイトを終えたのち、夕方 17 時半からの授業のために集う生徒が 110 名強在籍している。学び直しの機会を求めて在籍する生徒も少なからず、年齢層も 10 代～40 代と多様である。また、特に特徴的なのは、近年では、「外国にルーツを持つ生徒」の在籍数が増え、令和 6 年度には、全校生徒の 32%が、ブラジル、フィリピン、ネパール、中国、ボリビア、ペルーなどの外国にルーツを持つ生徒である。

このように本校は、互いの価値観や文化を認め合い、多様な他者と協働して学び合う県内トップレベルのダイバーシティ・スクールとして、魅力と特色ある教育内容が高く評価される公立高校のひとつとなっている。

2 取り組んだ内容

(1) 新・生徒会の発足と主権者教育

令和 7 年 1 月 31 日（金）に、前・生徒会執行部が中心となり、令和 7 年度の新・生徒会長・副会長を決める選挙を実施した。その過程では、告示、選挙活動、投票、立会演説会、開票、集計、結果の公表等、「模擬選挙」を全校で体験し、主権者教育の有効な協働的取組を実施することができた。

(2) 新・生徒会の最初の大仕事「バス遠足」

上述の生徒会選挙で、新・会長や新・副会長が選出され、新体制の生徒会が発足した。「学校行事の充実」を公約に掲げた新・生徒会執行部員により、バス遠足の行先についてアンケートや聞き取りをもとに、行先を検討した。その結果、ニデック京都タワーの展望デッキからの京都市街の夜景の鑑賞と、奈良時代に和気清麻呂が桓武天皇に平安遷都を進言した際に訪れたと言われる「強者どもが夢の跡」、将軍塚（京都市山科区）からの京都盆地の夜景を鑑賞する内容に決定した。

他校では、通常、校外学習（バス遠足）と言えば、学年ごとに実施する行事であるが、単位制の本校では、学年の概念が無く、入学の順に 4 年次生、3 年次生、2 年次生、1 年次生と便宜上、緩やかな区切りをつけているが、個々の授業は、複数の年次の生徒が履修しており、異年齢で仲良く学び合う風土がある。今回のバ

ス遠足も、すべての年次生と一緒に参加できる“学校全員のための生徒会行事”として巧みに企画された。



3 活動の成果

令和 7 年 2 月 14 日（金）のバレンタインデーの夜、夜間定時制の高校でしか実現ができない「京都の夜空と夜景を楽しむ会」が催行された。参加生徒の 1～4 年次生 35 名が、異年齢集団で夜の「バス遠足」を心から楽しんだ。予想以上に道路が混雑していたため、将軍塚訪問はかなわなかったが、ニデック京都タワーの展望デッキから皆で鑑賞した京都市街の美しい夜の夜景は、言葉では言い表すことができないくらい感動的な美しさで、一生の思い出に残る体験ができた。

今回、新・生徒会執行部の生徒たちが達成感を味わい、参加したすべての生徒がきらめく思い出を得て、さらには、生徒たちと引率した教員とが楽しい時間を共有できたことは、何物にも代えがたい貴重な経験であった。このような学校の教育活動をご支援くださった弘済会が様には、心中より深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。